

# 平成21年を振り返る

平成21年は、16年ぶりに政権が交代し、一方、新型インフルエンザが猛威を振るい人々の生活を震撼させました。西胆振地域では、日本で初めて洞爺湖有珠山が「世界ジオパーク」（地質遺産）として登録されました。そんな中で、室蘭は今年1年、どのような年だったでしょうか。

## 初お目見え

官民協働の公共施設「むろらん広域センタービル」が、新たなランドマークとして完成。

また、室蘭市から北海道初の総理大臣が誕生しました。

2月28日 海岸町にむろらん広域センタービルが完成。市役所の一部と胆振支庁、商工会議所に加えて、金融機関、民間事務所などが入居する官民複合施設で、市民の皆さんの利用頻度が高い市の窓口部門や道の税務部門、金融機関は1階に入居。

4月3日 知的障害児通園施設（えとも学園）と児童デイサービス事業所（あゆみ園、子ども通園センター）を集約した施設「子ども発達支援センター（愛称・あいくる）」が旧朝陽小学校を改修しオープン。

6月30日 行政の各種手続き方法や地域情報など、生活に役立つ情報が詰まった「くらしの便利帳」完成。7月中に全世帯に配布。官民協働事業として取り組み、協働事業者が集める広告収入で作成する手法は道内初。

9月16日 鳩山由紀夫衆議院議員が、室蘭から北海道初の総理大臣に選出。市内では祝福のイベントなどが相次いだ。

10月1日 公共施設など26カ所に、おむつ交換や授乳の出来る「赤ちゃんの駅」を開設。

10月2日 輪西町の7条グリーンモールに、巨大なポルタのミニチュメント「鉄が生まれる街のポルタ」がお目見え。

10月31日 祝津親水緑地の隣に風力発電用風車を設置。12月から本格稼働へ。発電機などが入っているナセル部分には全国的にも珍しい広告が入った。

11月9日 祝津保育所が港南町の旧子ども通園センターを改築し移転。



鳩山総理誕生を祝うイベント「ハトパーティ」（9月16日）



風力発電用風車の設置（10月31日）

むろらん広域センタービル完成（2月28日）



# むろらん平成21年を振り返る

## ものづくり

一昨年の日本製鋼所室蘭製作所創業100年に続き、今年は、新日本製鋼所室蘭製作所が創業100年を迎えました。100年という歴史と伝統、受け継がれていく技術は室蘭にとってかけがえのない財産となっています。

1月1日 函館どつくと檜崎造船が合併し、函館どつく室蘭製作所での新造船部門が復活。平成22年から着工する26年ぶりの新造船に向け、大型塗装設備など設備投資を行った。

3月2日 新日本石油精製室蘭製油所が石油化学原料「キユメン」を中国に初出荷。キユメンは光ディスク製品や自動車ガラスなどの素材となるフェノールの原料で、製造装置は昨年12月から本稼働している。

5月11日 日本製鋼所室蘭製作所の売上高が1千億円を突破。過去最高益となり、9期連続の黒字で好調。

6月下旬 室蘭工業大学の学生が人工衛星の打ち上げを目指し、プロジェクト「DORMIT」を立ち上げた。今後、一般向けや児童生徒向けの人工衛星に関する出前教室なども計画。

9月9日 栗林商船が、自社の貨物船を導入。日本製鋼所室蘭製作所の各種発電用部材の受注が好調なため、製品を主要貨物とする貨物船として22年ぶりに新造。

9月16日 室蘭工業大学ものづくり基盤センターが、鑄造などの教室や出前講座がものづくりを担う将来の人材育成につながるとして、(財)博報児童教育振興会の博報賞を受賞。

10月2日・4日 新日本製鋼所室蘭製作所の創業100年と、一昨年の日本製鋼所室蘭製作所創業100年を記念し、「室蘭の鉄文化ものづくりフォーラム」が開催され、両工場の見学会や講演会などが行われた。

10月21日 日本製鋼所室蘭製作所元所長の、佐藤育男同社代表取締役社長をふるさと大使に任命。

10月27日・28日 地元企業の持つ技術力を身近に感じてもらうとうと「室蘭地域ものづくり展示会」を開催。22の企業と団体が一堂に集結し、多くの市民がその技術に目を見張った。



創業100年を迎えた新日本製鋼所室蘭製作所 (写真は第2高炉)

日本製鋼所室蘭製作所遠景



室蘭地域ものづくり展示会 (10月27日・28日)

# イベント

豪華客船寄港時の歓迎行事や、道内屈指のジャズコンサート「室蘭ジャズクルーズ」など、今年も元気があふれるイベントが目白押しでした。

1月1日 初日の出を見ようと地球岬展望台に約1千400人が訪れた。初日の出歓迎イベントに長年携わっている人さえも「記憶にない」と言うほど久しぶりに、水平線から太陽が昇り、展望台は歓声と感動に包まれた。

2月1日～15日 チューブソリ「ゴムスレー」がだんパラに新登場。多くの親子などが雪原の滑走を楽しんだ。

4月29日 水族館の人気企画、トドのショーが4年ぶりに復活。ジャンプや輪投げ、縄跳びなどの多彩な芸に、観客から歓声と拍手が沸き起こった。

5月9日・9月27日 今年も豪華客船ダイヤモンド・プリンセスが寄港。港からまちを盛り上げようと取り組んできた市民による歓迎活動が好評で、毎年のように入港している。

7月24日 旧室蘭駅舎で定期的に開催されていた駅内でのコンサート「駅コン」が12年ぶりにJR室蘭駅で復活。

7月24日～26日 むろらん港まつり開催。小雨模様にもかかわらず、多くの人でにぎわった。室蘭ねりこみでは途中から降り出した雨を吹き飛ばすかのように担ぎ手たちは大きな掛け声と共に練り歩いた。



チューブソリ「ゴムスレー」  
(2月1日～15日)

7月30日・31日 アーケードが撤去され、初めての空の下で「酔ってけ浜町ビアフェスタ」が開催。

8月9日 室蘭地域のコミュニティ放送FMびゅーが開局1周年記念のコンサートを開催。「ありがとうをフォロークで伝える」と題し、地域の皆さんに感謝の気持ちを伝えようと企画された。

また、10月には、北海道コミュニティ放送大賞の番組部門とCM部門で入賞。開局から1年目にして好成績。

8月22日 中央埠頭倉庫で「室蘭ジャズクルーズ」を開催。世界的ミュージシャンらを含む7バンドが奏でる迫力のサウンドに、2千人が酔いしれた。

8月15日・16日 栗林商会の創業者が来蘭する政財界の要人をもてなすために建てられた「蕙山苑」が建設100年を記念して初めて一般公開された。

8月29日・30日 がんへの理解と支援を求めるチャリ



ダイヤモンド・プリンセス寄港時に市民が歓迎  
(5月9日・9月27日)



室蘭ジャズクルーズ (8月22日)

# むろらん平成21年を振り返る



酔ってけ浜町ビアフェスタ  
(7月30日・31日)



駅コン (7月24日)

ティーンイベント「リレー・フォー・ライフ」に、がん患者をはじめ、2日間で延べ1千500人が参加。夜通しのリレーウォークで勇気と希望を共有した。

9月5日・6日 スワンフェスタ開催。会場の中央埠頭では、ステージ企画や露店などに来場客がにぎわい、クロソイ汁やカレーラーメンなど、ご当地グルメに舌鼓を打った。

10月4日 追直漁港で、室蘭さかなの港町同窓会が開催され、生きたサケのつかみどりや、新鮮な魚介類の販売など、大勢の市民が「さかなの港町」を堪能した。

## 夜景

白鳥大橋や測量山鉄塔のライトアップ、工場の照明、住宅街の明かりなど、身近なまちの光が注目を集めています。バスでの夜景巡りも多数開催されました。

5月9日～6月16日 室蘭民報で「室蘭ナイトビュー 輝きをもとめて」と題し夜景の魅力を連載(全6回)。

9月1日 広報むろらん9月号で室蘭の夜景を特集。7年8カ月ぶりのカラーページで夜景の美しさを紹介。

9月30日 市内各所で市主催の室蘭の夜景移動写真展を開催。広報むろらん9月号で紹介できなかった写真や市民からの公募写真などを展示。

10月1日・28日 市主催の市民夜景見学会に、募集定員をはるかに超える応募。例年1回の実施を2回に増やし、より多くの市民が参加。

10月31日 室蘭大好き人間の育成を目指す市民講座「室蘭港立市民大学」で、市内の夜景スポットをバスで巡る見学会を開催。

11月2日 市民観光ボランティアガイド協議会が、実証走行実験中の水素燃料エンジンバスを利用した夜景研修会を開催。

11月11日・17日 道南バスが、地域の魅力を見直そうと夜景ツアーを企画。バスガイドによる室蘭案内は市内外の乗客に好評を博した。



道南バスによる夜景ツアー  
(11月11日・17日)



市主催の市民夜景見学会 (写真は祝津公園展望台)  
(10月1日・28日)

もうすぐ一年も終わろうとしています。  
来年も皆様にとっ  
てどうか良い年でありませうように。



平成21年12月